

令和2年2月28日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

出雲農業創生会議で出雲農林高校生を激励

(ダイジェスト)

出雲農林高校が主催する「出雲農業創生会議」が開催され、今年度の事業内容の報告・検討が実施されたのに併せ、同校卒業生のうち農業関連分野に進む10名に「希望の証」を渡して激励しました。

出雲農林高校は、今年度より文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）」の指定を受け（令和元年度から3年間）、同校を核に地域の多様な関係者と高校の関係者が協働体制を構築し、出雲市の地域及び農業を支える核となる人材を育成することを目的として、学校教育の充実・強化に取り組んでいます。

この地域協働を進めるため「出雲農林高等学校支援コンソーシアム（出雲農業創生会議）が組織され、事業計画・実績及び実践内容の検討が行われます。

構成員は出雲市、JAしまね出雲・斐川地区本部、島根県ですが、このうち、JAしまね出雲地区本部と東部農林振興センター出雲事務所は、コーディネーターとして事務局にも参画しています。

2月7日に第2回出雲農業創生会議が開催され、今年度の各種の積極的な取り組み内容の報告・検討が行われましたが、同会議の主要事業の一つである卒業生に対する激励が行われました。

これは、卒業生のうち、県立農林大学校への進学、農業及び農業関連事業所への就業者を表彰するもので、本年度の対象者10名に、同会議の会長である出雲市長から「希望の証」と記念品が贈られました。

生徒の代表者からは、「地域の農業の発展のために、それぞれの進路で頑張る。」と力強い決意表明がありました。

出雲普及部では、高校の課題解決研究、GAP管理の充実等、この事業を通して幅広く取り組んで行くこととしています。



出雲市長から「希望の証」の授与